

同十一年のちして月俸十日を  
 多まりの附よこ家ありき同十九年  
 大番之列同廿年十一月上総國  
 聖院郡の内よこいこ米地二百石を  
 多まい月俸に收りける  
家濟の今の山内院  
番隊主君の忠貞

祖考

と何〜む

東照宮に仰よふりて紀伊  
 大納言頼宣卿の附屬せられ正保  
 元年四月〜二十七日〜て死す法名  
 盗金とふ其子玄部玄重の重之ついで  
 かの家〜は〜  
家濟の子孫勅解由昭之時享保元年紀伊  
家より供奉し〜を城に住りたる今の小普濟

飯塚主水忠  
 顯の祖考